

<レポート> 『アドフラウド対策の実装』における実証実験

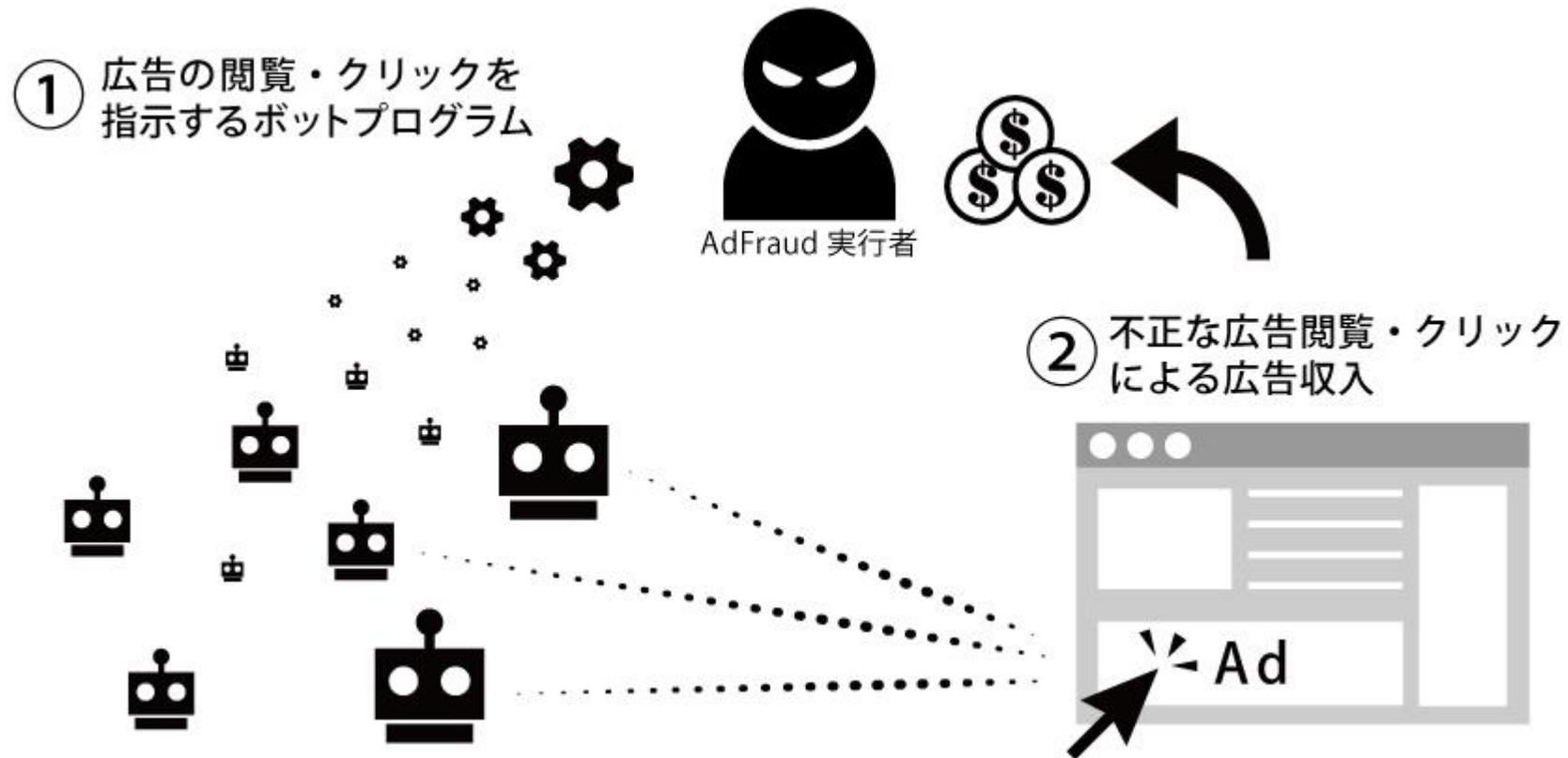
□ はじめに

ソネット・メディア・ネットワークス株式会社は、DSP『Logicad』において、Momentum社のアドフラウド対策を実現する広告配信ネットワーク接続用プラグイン『Black Heron』を導入し、DSPにおけるインターネット広告配信（バナー広告）の実証実験を実施しました。

Ad Fraud (アドフラウド) とは

アドフラウドは、無効なインプレッションやクリックを稼ぎ、広告費用に対する成約数や広告効果などを水増しする不正広告です。悪質な実行者によりプログラムを組み込まれた「bot」(ボット*)が、人間のようにブラウジングすることで、インプレッションやクリックを不正に発生させることが代表例として挙げられます。

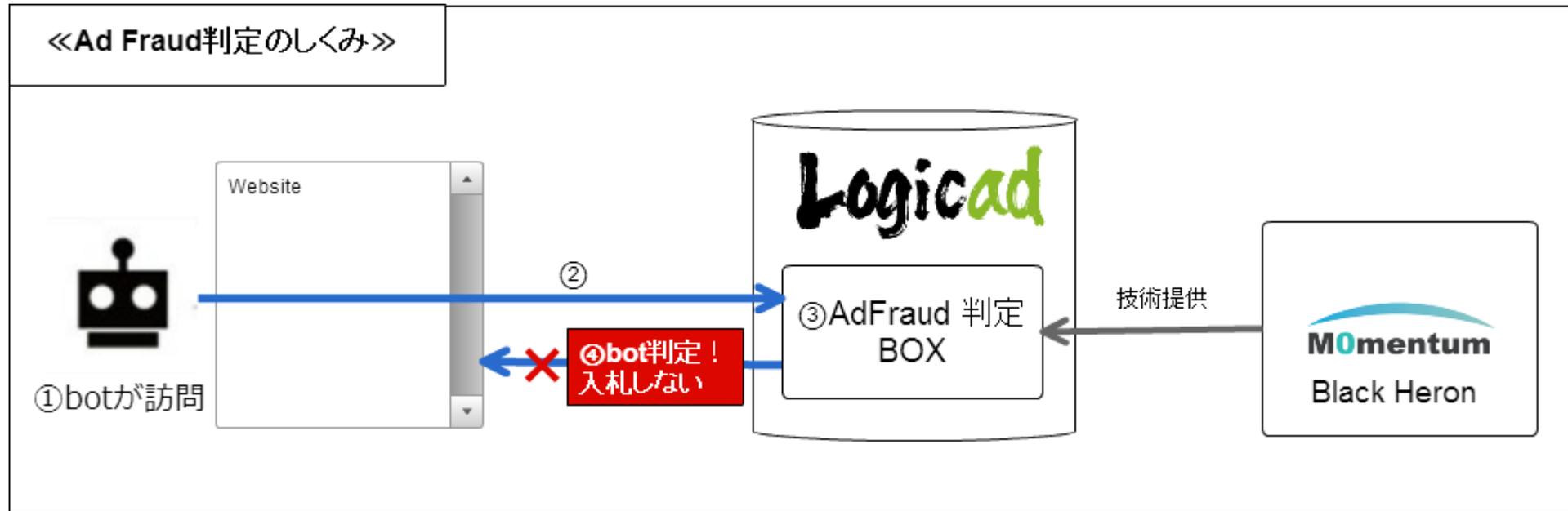
* 「bot」(ボット)とは、「ロボット」の略称で、コンピュータによる自動プログラム



サービス概要

『BlackHeron』(Momentum社)は、国内で初めて開発されたオンライン広告取引の監視・対策ツールです。特徴は、約90種類以上の判断基準を組み合わせた独自のアルゴリズムによるフラウドスコア(オーディエンス情報や媒体情報に基づいて総合的に算出)を活用し、「bot」やコンバージョンしないユーザー、広告を水増しするような媒体への出稿回避を実現することができます。

『Logicad』では、『BlackHeron』のAd Fraud判定技術から、botなどによる不正な広告を見分けます。判定により不正と判断されたリクエストには一切入札を行わないため、広告主の安全を守ると同時に、無駄な広告費用を発生させないことが可能になり、その結果パフォーマンス(CVRの向上、CPAの改善)の向上を実現します。



実験概要

- ・本実験では、『Logicad』の全配信サーバーの内、一部の配信サーバー(全体の約 30 %)にアドフラウド対策を適用した
- ・調査としては、下記3点を実施

1. アドフラウドの割合調査

- ・期間： 2016年1月21日（木）～1月31日（日）
- ・内容： アドフラウド対策を適用していない配信サーバー(全体の約 70 %)でのインプレッションとクリック について、アドフラウドと判定された割合を集計

2. アドフラウド対策による効果の調査

- ・期間： 2016年1月21日（木）～1月31日（日）
- ・内容： アドフラウド対策を適用したサーバーの配信結果(全体の約 30 %)と、それと同量・同種となる非適用サーバーでの配信結果 (全体の約 30 %) をそれぞれ集計し、CPAやCVR等の効果の比較を行った (いわゆるABテストを実施)

3. アドフラウド判定されたログの種別と割合調査

- ・期間： 2016年1月21日（木）23時台のリクエスト
- ・内容： アドフラウドと判定されたリクエストについて、どのような種類があり、どのくらいの割合を占めるのか調査した(Momentum社による調査)

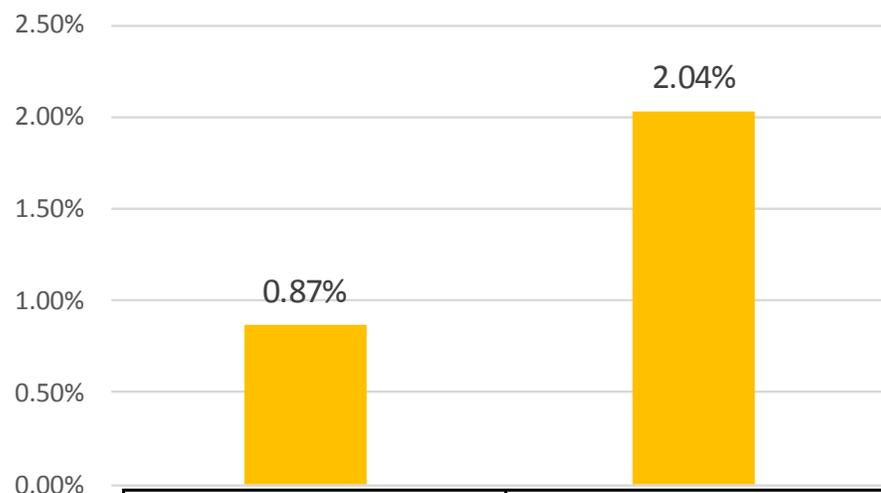
1. アドフラウドの割合調査

□ 結果

■ 『Logicad』におけるフラウド率は、Momentum社の過去調査よりも下回ることを確認

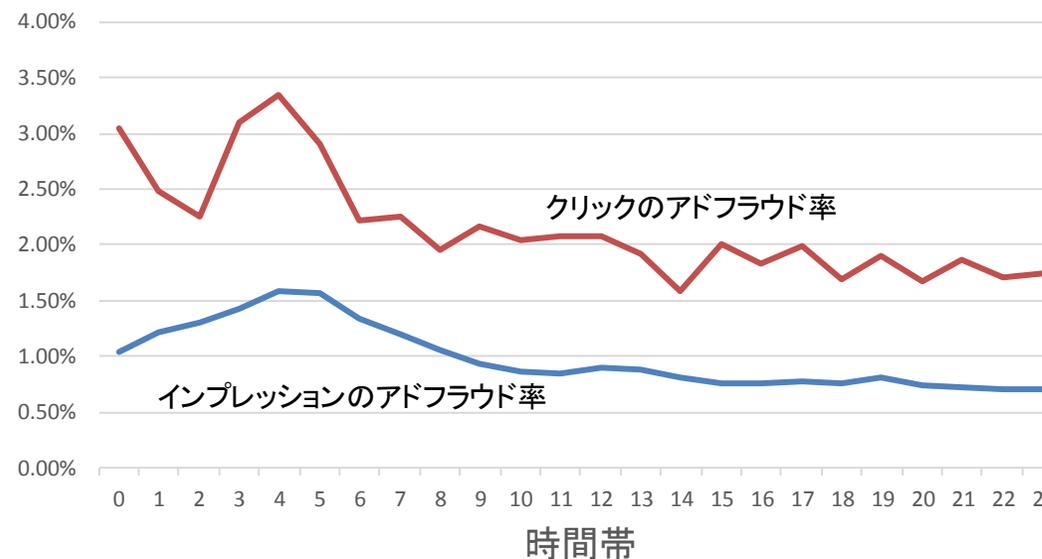
- 『Logicad』におけるインプレッションのアドフラウド率は**0.87%**、クリックのアドフラウド率は**2.04%**であった
- Momentum社の過去調査（国内複数のDSP事業者におけるアドフラウド率）では、全体の広告配信のうち、インプレッションの2.5%、クリックの10.1%がアドフラウドであるという報告をしており、『Logicad』は、アドフラウド対策を実装する前でも、Momentum社の調査よりアドフラウド率が下回ることが判明
- また時間帯別に見ると、3時～6時台の深夜から朝方にかけてアドフラウド率が高いことが分かった

■ Logicadのアドフラウド率（全体）



| | インプレッション | クリック |
|---------|----------|-------|
| アドフラウド率 | 0.87% | 2.04% |

■ 時間帯別のアドフラウド率



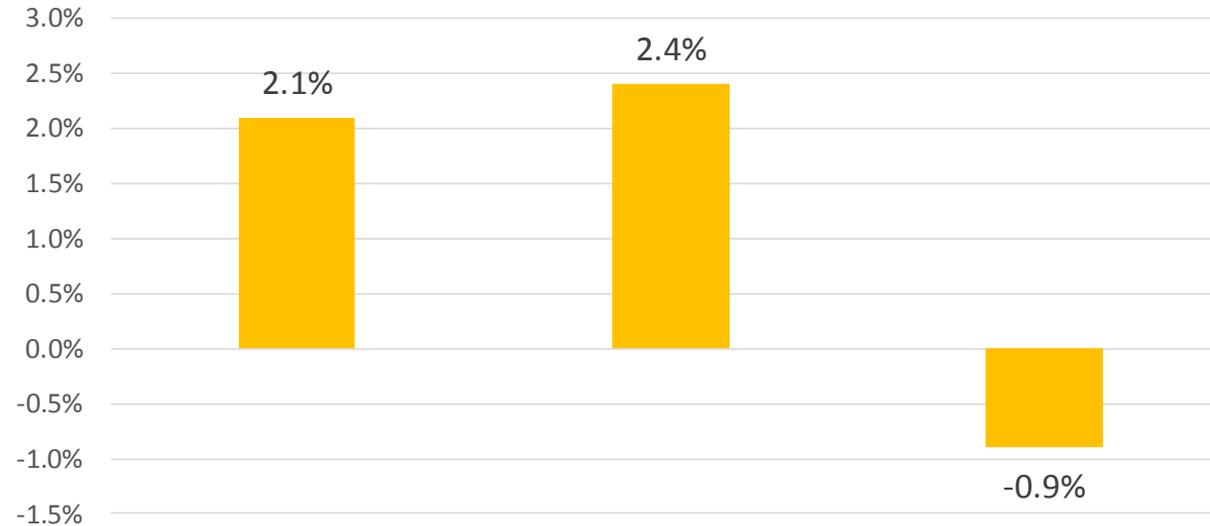
2. アドフラウド対策による効果の調査①（全体）

□ 結果

■ アドフラウド対策の実装によりCPAが 2.1 %、CVRが 2.4 %改善されることを確認

- ・ 適用サーバーは、非適用サーバーに比べて、CPAが 2.1 %、CVRが 2.4 %改善された。
- ・ また、適用サーバーは、非適用サーバーに比べて、配信数が -0.9 %とほぼ変化ないことが確認された。

■ アドフラウド対策の実装による改善率



| | CPA | CVR | 配信数 |
|-------------------|------|------|-------|
| アドフラウド対策の実装による改善率 | 2.1% | 2.4% | -0.9% |

※アドフラウド対策の実装による改善率 ⇒ 【非適用サーバー】を100%として、【適用サーバー】でどれだけ改善されたか

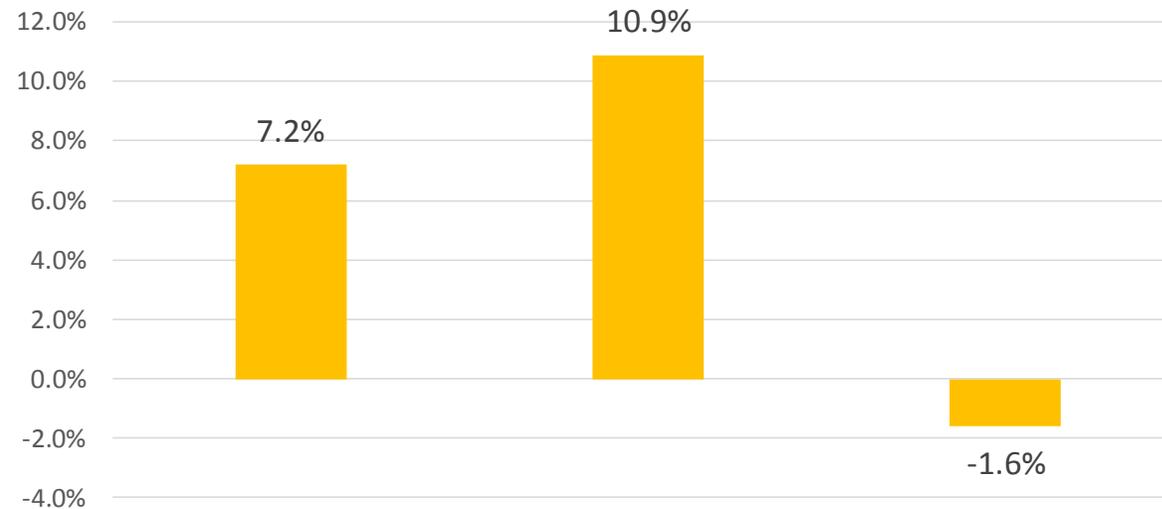
2. アドフラウド対策による効果の調査②（サプリメント・健康食品）

□ 「サプリメント・健康食品」カテゴリでの結果

■ 「サプリメント・健康食品」カテゴリでは、
アドフラウド対策の実装によりCPAが 7.2 %、CVRが 10.9 %となり、著しい改善を確認

- ・ 『Logicad』内の「サプリメント・健康食品」カテゴリで集計を行った。
- ・ 適用サーバーは、非適用サーバーに比べて、CPAが 7.2 %、CVRが 10.9 %改善された。
- ・ また、適用サーバーは、非適用サーバーに比べて、配信数が -1.6 %となった。

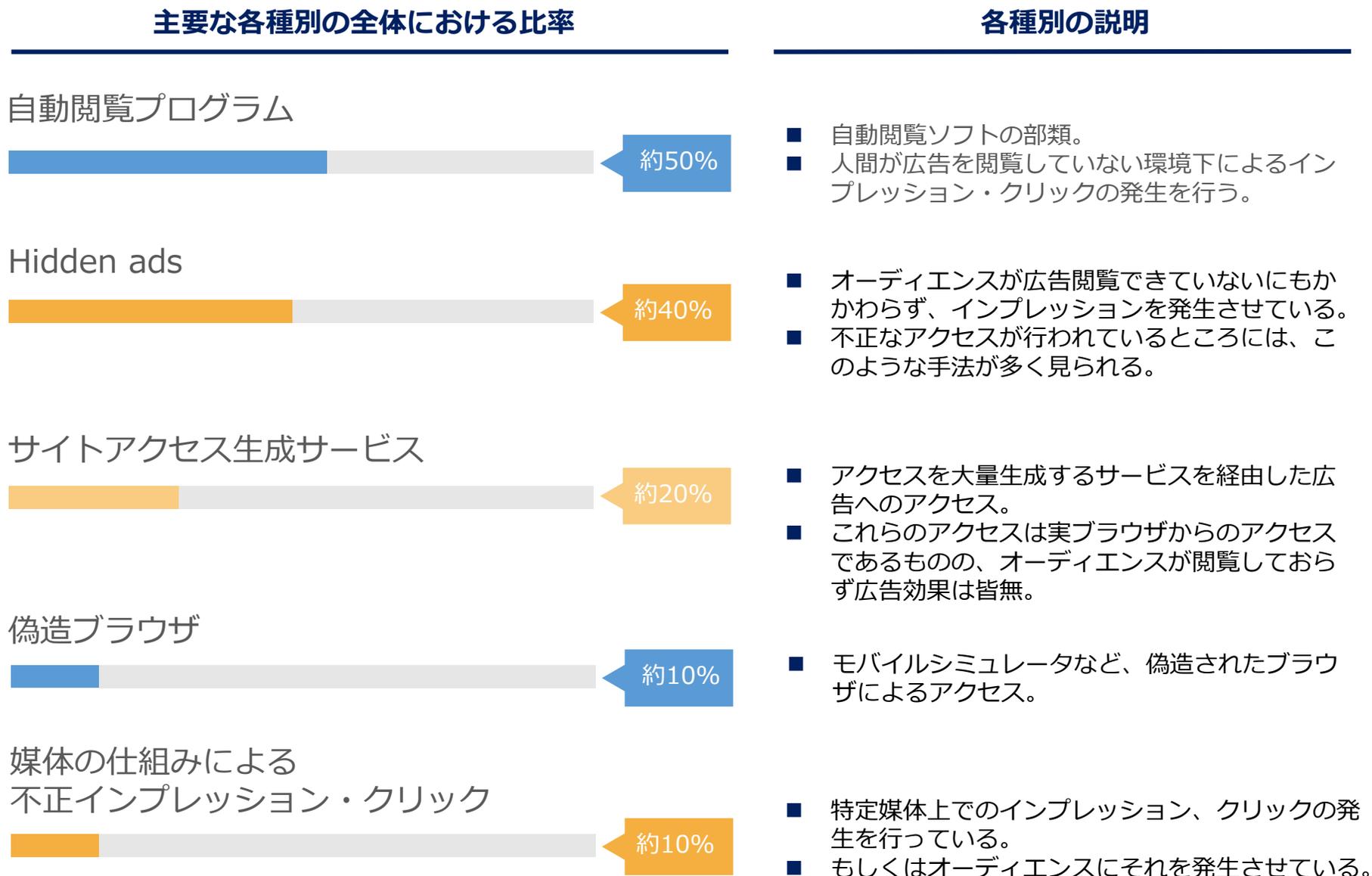
■ アドフラウド対策の実装による改善率



| | CPA | CVR | 配信数 |
|-------------------|------|-------|-------|
| アドフラウド対策の実装による改善率 | 7.2% | 10.9% | -1.6% |

※アドフラウド対策の実装による改善率 ⇒ 【非適用サーバー】を100%として、【適用サーバー】でどれだけ改善されたか

3. アドフラウド判定されたログの種別と割合調査



※種別については、重複して該当するため、各種別の割合合計が100%を超過します。

考察・まとめ

1. Logicadのアドフラウド率は、Momentum社の過去調査よりアドフラウド率が低い

- ・本調査における『Logicad』のアドフラウド率は、昨年3月に実施したMomentum社の独自調査（国内複数のDSP事業者におけるアドフラウド率）よりも下回ることが判明しました
- ・要因としては、導入前の運用（下記）からアドフラウド率が低くなっていると考えられます
 - －1回のレスポンスに対して1回しかインプレッションやクリックを発生させない仕組みを導入
 - －クリックのみが多く、コンバージョンに至らない媒体を排除

2.アドフラウドと判定されるものに入札をしないことにより、CPA・CVRが改善

- ・「bot」やコンバージョンしないユーザー、広告を水増しするような媒体への出稿を回避し、代わりに正常なユーザーや媒体へ配信することができたため、配信数を大きく減らすことなく、CPA・CVRが改善できたと考えられます

3.アドフラウドの種類は、「自動閲覧プログラム」やユーザーが閲覧できない箇所にインプレッションを発生させる「Hidden ads」を確認

- ・本調査で確認したアドフラウドの種類は、「自動閲覧プログラム」や「Hidden ads」などが挙げられました。
- ・また比率は低いものの、特定のサイトにおいて半自動化されたプログラムにより、インプレッションやクリックのカウントを発生させるアドフラウドも確認されました。

今回のアドフラウド対策の実装により、不正な配信を防ぐことができ、一定の効果を実現することができました。一方で今後は新たなアドフラウドの出現も想定されます。

当社では、引き続きアドフラウド対策を Momentum社と共同で運用し、広告主に安心して使えるプラットフォームとして、日々進化を続けていきたいと考えています。